

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十四年師走



拝啓 年の瀬も間近になってまいりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。



すっかりこの時期の恒例行事となりましたが、今年も11月17日に兵庫県西脇市の契約農家に米の買い付けに行っていました。例年と異なるのは、今年は山田錦だけでなく愛山も買い付けてきたことです。以前、愛山で純米大吟醸を何回か仕込んで大好評を頂戴しましたが、去年は仕込みを休みました。それというのもこちらに来て生産者と愛山の話をしたときに「もともとこのあたりが愛山の主産地です。最近あちこちの蔵でさかんに愛山を使って仕込んでいるそうだけれど、

圃場自体をあまり見たことがない。いったいどこでそんなに作っているのでしょうか。地元の農家の間でも不思議な話だと噂されているのですよ。」と聞かされたからです。それまで当社は商社から購入しておりましたので、トレーサビリティという点で疑問を感じました。そこで1年がかりでつてを頼って信頼できる生産者を紹介していただき、今年から直接購入することにしたのです。写真をご覧ください。玄米ですが、心白の大きさ等山田錦との違いは明らかです。(もともとこの山田錦は生産者の名人芸で高精白に耐えるよう敢えて心白を小さくしながら特等の検査格付を得ているお米ではありますが。) 今年には素晴らしい山田錦に加え、正真正銘の愛山のお米を使った純米大吟醸をお届けいたします。皆様楽しみにお待ち下さい。

今年から蔵に新しく入った八重樫直樹君をご紹介します。出身は岩手県花巻市の石鳥谷町で、昭和49年生まれの38歳、酒造りの仕事は12年目になります。当社では釜屋を担当してもらっています。酒造りは相手が生き物だけに難しく、また難しいからこそ面白みもあり、自分の仕事に没頭できるのが楽しいとのこと。趣味は**映画館で映画を見る**ことだそうです、このあたりにもこだわりが感じられます。**独身で花嫁募集中！どなたかいい方をご紹介します。**



今月2日の日曜日、臥龍梅の書を揮毫してくださった渡邊墨仙先生の主宰される墨佑社の集いがホテルセンチュリー静岡で開催され、小生も出席いたしました。題して「墨佑社この一年・小宴」。日展入選は言うに及ばず、毎日書道頭彰、オリベッティ国際賞等、数多の賞を受賞され、毎日書道会監事、全日本書道連盟参与、日本書道美術院常任顧問等、数多の要職に就かれている先生ですが、とても気さくなお人柄です。わが臥龍梅の酔いも手伝ってか、先生を中心に会場は大いに盛り上がりました。来年の干支、**巳**の文字を揮毫された色紙をお土産に頂戴してまいりましたのでご覧ください。



様々なアイテムが完売してご不自由をおかけいたしました。ようやく平成24BYの新酒が出揃ってまいりました。今月は**山田錦55%と菅富士55%の純米吟醸無濾過生原酒**2点に加え、**五百万石の活性にごり酒**をご案内いたします。必ずやご満足いただける出来ばえと存じます。どなた様もお見逃しなく！

なんとなく気ぜわしい毎日ですが、おからだだけには十分にお気をつけられますよう。

敬具

平成24年12月吉日

鈴木 克昌